

## 総務常任委員会

**幸手市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例（議案第3号）**

**問** ビラを頒布する場合、選挙管理委員会としての確認方法は。

**答** 特にビラについての事前審査はない。事前に届出ていただいたものに、証紙を貼って頒布するという形になる。

**問** 頒布の方法は。

**答** あくまでも頒布で、散布をすることはできない。頒布とは、街頭演説の際や新聞折り込み等が想定される。



**平成29年度幸手市一般会計補正予算（第5号）（議案第21号）**

**問** ふるさと納税寄付金の減額理由は。

**答** 2月中旬で寄付件数が492件、617万円という状況から、今回補正予算で減額する。

**問** PR方法は。

**答** 過去に寄付をしていただいた方にリマインドのがき、もしくはメールのご通知を差し上げたり、ホームページに掲載しているところである。来年度以降は返礼品の見直し等もあり、新たな方策等を模索していきたい。

**問** 工事請負費の減額理由は。

**答** 第2庁舎全部のエアコン入れ替え工事を進める予定であったが、一部稼働ができる部分があるので、その部分は生かし、減額した次第。

**平成30年度幸手市一般会計予算（議案第27号）**

**問** 市税を前年度比1.1%（7182万円）増と見込んだ理由について。

**答** 個人市民税では、経済状況や雇用情勢などにより定期給与の持ち直し、現金給与総額の穏やかな増加が見られ、法人税については内閣府の景気ウォッチャー調査でも企業の実績は徐々に伸びてきている。また固定資産税においては圏央道の開通により、工業団地の土地評価替えが4.9%プラスなどを総合的に勘案し、1.1%の増を見込んだものである。

**問** 土木負担金の重要河川大中落・中落検討業務委託負担金の内容について。

**答** 大中落、中落の流域概略氾濫シミュレーション業務を歳出予算土木費で計上している。事業費は1千万円になっているが、これを幸手市と久喜市で負担する。久喜市の負担割合は48%で480万円を計上している。

**問** 広報広聴費の中吊り広告掲載

業務委託料の内容は。

**答** 鉄道車内の広告掲載業務委託料とポスターの作製料の2項目である。イメージとしては、窓の上にある曲がっている所の車内窓上広告。平成30年度は、2月13日から3月12日の1カ月間、JRの湘南新宿ラインに掲載予定。



**問** テレビデータ放送事業発信料の内容は。

**答** 地上デジタル放送のデータ放送を活用し、市民の皆様へ幸手市の情報を提供するサービスである。具体的にはテレビ埼玉にチャンネルを合わせて、dボタンを押すとデータ放送が出てきて、市町村の欄で幸手市を選ぶと、幸手市の情報が出るという形である。担当のパソコンにソフトを入れると、タイムリーに反映するので、防災時の通行止めの期間など利用できると考える。

## 文教厚生常任委員会

### 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (議案第4号)

**問** 幸手市では国民健康保険税が多少上がることになるが、その金額は県が定めたものか。

**答** 県は各市町村の国保事業費納付金を計算し、その納付金額に合わせて税を計算し、標準的な税率を提示するものである。

### 幸手市介護保険条例の一部を改正する条例 (議案第8号)

**問** 基金を取り崩して保険料を抑制するというのだが、基金を充てられる期間は、どの程度と見ているのか。

**答** 第7期に2億2千万円を取り崩し、また第8期にも取り崩して上昇抑制を図り、第9期にも残った分を取り崩したい。

### 幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (議案第14号)

**問** 現在の公民館の運用に何か問題があったのか。

**答** 現在の館長では年齢的に若く、地域の意向をつかみきれない面もあり、市の職員構成としても、主幹級の職員が不足していることもあったことから、退職した校長に公民館長をお願いしたいというものである。

### 平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第5号) (議案第21号)

**問** 幼稚園費、私立幼稚園就園奨励費補助金773万3千円の減額理由は。

**答** 当初予算での見込みより、申請が減っていることにより補助金を減額するもので、園児の減少も要因のひとつですが、生活状況に

よって申請の階層があり、年ごとに違いが出ていることから、その点も要因として考えている。

### 平成30年度幸手市一般会計予算 (議案第27号)

**問** 運転免許証自主返納者支援事業交付金の内容は。

**答** 運転免許証を自主返納した高齢者を対象に、タクシードライバー初乗り730円分を10枚、交付する事業である。

**問** 東部消防組合負担金について、5年後に負担金を5%削減する計画だったが、どのような状況か。

**答** 負担金の内訳は共通経費、単独経費、特別負担金に分かれている、この内共通経費を、平成30年度から34年度の5年間で、5%削減することになっており、30年度については、1%削減となったものである。

**問** LED防犯灯設置工事の内容は。

**答** 市内各地に設置されている防犯灯について、古い蛍光灯のもの

をLEDに交換する工事で、250基を予定している。

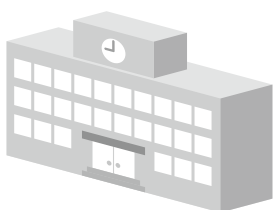
**問** 教育指導費の学力調査業務委託料の内容は。

**答** 幸手市統一の学力テストとして、新たに取り組むもので、小学校1年生から6年生までは国語と算数、中学校1、2年生については、国語、数学、英語の3教科を予定しているものである。

### 平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第6号) (議案第37号)

**問** 国の補正予算に伴い、学校改修工事を前倒しするための補正予算だと思うが、工事時期は早まるのか。

**答** 基本的には夏休みを利用しての工事になることから、時期が早まることはない。



## 建設経済常任委員会

### 幸手市都市公園条例の一部を改正する条例

(議案第15号)

**問** 幸手市で現状の運動施設率はこの程度なのか。

**答** 千塚公園45・89%、上吉羽中央公園29・36%、幸手総合公園46・28%、産業団地にできた神扇公園が42・80%である。

### 工事請負契約の変更について

(議案第18号)

**問** 古川橋架替工事の工期延長による繰越明許の必要性はあるのか。

**答** 会計年度の基本は単年度が原則だが、今回、工事が年度内に終わらないことが明らかとなったため、工事請負契約の変更をし、繰越明許を行うこととした。

### 平成29年度幸手市一般会計補正予算(第5号)

(議案第21号)

**問** 幸手中央地区産業団地企業誘

致奨励金60万円の削減理由は。

**答** 奨励を受け取れる指定企業の条件は、敷地面積5千㎡以上、建物が1500㎡以上、直接雇用常時15人以上が条件で、平成29年度操業開始予定の3社のうち1社が直接雇用15人に達してないため、指定企業とならなかったため1社分60万円の減額となった。

**問** 木造住宅耐震改修資金補助金の減額の理由は。

**答** 市の補助金が1件当たり20万円、2件分を見越していたが、木造住宅耐震改修資金補助申請は3件あったが、改修までに至らず、現時点で改修がないため減額した。

### 平成29年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)

(議案第26号)

**問** 繰越明許費の理由は。

**答** 道路・宅地整地実施設計事業

については、道路予定区域内に存在する農業用水施設の暗渠の構造の確認に不測の日数を要したため、年度内に完了することが見込めなくなつたため。

調整池実施設計事業については、現地のボーリング調査による土質が近傍地の土質データとの差異が生じ不測の日数を要したため年度内に完了することが見込めなかった。繰越明許費とすることになった。

### 平成30年度幸手市一般会計予算(議案第27号)

**問** 多面的機能支援事業補助金の内容は。

**答** 農業農村の多面的機能を支える共同活動を支援するもので、水路や農道等の管理を地域で支え、基本的には農村地域で行う活動、これに対して国・県・市で補助していくもの。

**問** 県・市共同施行産業団地整備事業負担金の期間と合計額は。

**答** 県との協定により、5年間、5回に分けてかかった事業費の3%相当額を市が負担するもので、

今回、平成30年の支払が3回目となり、3回目までの合計は2億3221万5千円となる。

**問** 大中落・中落流域概略氾濫シミュレーションの内容は。

**答** 大中落と中落の流域についてはたびたび台風等で水害がおきており、特に大中落は久喜市、旧鷲宮町の区域からの流出量による浸水状況をシミュレーションし、対策を考えていくもの。

### 平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算(議案第33号)

**問** 駅西口開通関連工事1千万円の内容は。

**答** 平成31年3月の西口の開設に伴い、駅前広場から幸手停車場線9メートルの区画道路を通つて、県道幸手久喜線までの安全でスムーズな通行を確保するため、区画線や注意喚起などの路面標示の工事、既存道路とのすりつけ工事、仮囲いなどの工事の予定。